

平和がいいな昭和区の会

ひまわり

～沖縄は忘れない あの日の空を～
自主上映会のお知らせ

2023年

日時：11月23日(木・祝)

13:50～(開場13:20)

16:10終了予定

場所：名古屋市公会堂

4Fホール(鶴舞公園内)

入場料：1,000円

主催：平和がいいな昭和区の会

<https://peace-showa.nagoya/>
(Tel)052-853-3825(池内福祉会内)

沖縄のリアルを語るゲストのトークも計画中です。お楽しみに！



詳しくはこちら→



ジェット機戦闘機は炎上しながら校舎へ激突した!

一瞬に奪われた命、今、あきらかになる宮森の悲劇。
「ひまわり」を愛する幼い少年の夢も、少女の未来も、一瞬のうちに奪われてしまった・・・

1959年6月、沖縄・宮森小学校に米軍ジェット機が炎上墜落し、学童11名、近隣住民6名が犠牲となった大惨事を題材とする壮大な人間ドラマを映画化!
基地あるかぎり、沖縄の悲しみは終わらない。



映画「ひまわり」を応援しています



沖縄の方達が本当の笑顔を取り戻すまで、私たちはしっかりとサポートしなければなりません。「ひまわり」の製作に期待しています。

賛同者 吉永小百合さん(女優)

呼びかけ人



鳥越俊太郎氏

池辺晋一郎氏

佐々木愛さん

小森陽一氏

呼びかけ人のメッセージ >>

賛同者

安齋育郎氏、池澤夏樹氏、西山太吉氏、海老名香葉子さん、中沢啓治氏、伊藤真氏、益川敏英氏、中村梧郎氏、伊藤千尋氏、井上麻矢さん、早乙女勝元氏、三上満氏、神田香織さん、石川文洋氏(順不同)

企画・製作/桂壮三郎 監督/及川善弘 原案/「石川・宮森ジェット機墜落事故証言集(石川・宮森630会編)」

脚本/大城貞俊、山田耕大 脚本協力/宜野座由子 製作/本村初枝 プロデューサー/森田勝政

撮影監督/前田米造(J.S.C) 撮影/岩崎登 照明/赤津淳一 録音/北村峰晴 編集/奥原好幸 助監督/中里洋一

美術/春木章 音楽/山谷知明 視覚効果/田口清隆 スクリプター/堀北昌子

キャストイングプロデューサー/松永琴 協力プロデューサー/山本洋 宜野座映子

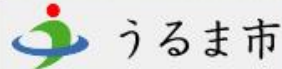
映画「ひまわり」製作委員会/ゴーゴービジュアル企画 沖縄県映画センター

主題歌/「ひまわり」 Civilian Skunk (アマディア/ポニーキャニオン) ノベライゼーション/ひろはたえりこ(汐文社 刊)

配給/映画センター全国連絡会議 ゴーゴービジュアル企画 宣伝/トラヴィス 制作協力/青銅プロダクション

製作支援/映画「ひまわり」を成功させる沖縄県民の会 映画センター全国連絡会議 大阪教映社 中国共同映画

©2012年 映画「ひまわり」製作委員会



石川・宮森六三〇会



2012映画『ひまわり～沖縄は忘れない あの日の空を～』製作委員会

平和がいいな 昭区の会

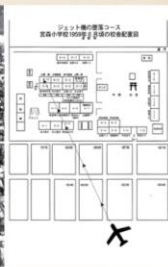
詳しくはこちら→



宮森事件とは About

事故の概要

1959年6月30日午前10時40分頃、米軍のジェット戦闘機が石川市6区5期・8組に墜落し、その衝撃で煙が上がり、付近の家々を引き連ねるようになりながら北西の方向約150m先の宮森小学校のコンクリート校舎6年3組2階の柱(ひさし)に衝突、2階のエンジンの一部が校舎の中に入りました。燃焼が起きて燃焼するまで、6区5期・8組の家々とすぐ隣の2年生のトランシキ校舎3教室は燃やされ大規模のジェット燃料で激しく炎上しました。
この事故で18名(内後述通り1人)の尊い命を奪い、多数の重軽傷者を出し、そして数千人の心に傷を負った大惨事となりました。



6区5期に墜落した米軍のジェット機は、その衝撃で煙が上がり、宮森小学校に衝突した。「昭和46年6月29日」

ジェット機の墜落コース 宮森小学校1959年6月頃の配置図(以下左:図ともして全7回・宮森630会編「沖縄の空の下」より転載)



罹災の瓦が吹き飛ばされた4年1組とエンジンが飛び込んだ3組の教室 写真提供:キーストーンスタジオ



1959年6月30日事故当日、米軍人で埋められ、生徒を排除した。すまじく作製した6区5期の墜落現場 写真提供:伊波 玄氏

被害の状況

